

## 《小島地区町政懇談会》

年月日 令和7年10月21日(火)  
時 間 午後6時30分～午後8時  
場 所 小島公民館  
町民出席者数 27名

- ①開会あいさつ：副町長（内容省略）
- ②町長挨拶（内容省略）
- ③町役場出席者紹介
- ④懇談

質問1 昨年の町政懇談会において、川俣町の人口減少率が最も高かったことについて、町長より説明があったが、行政区長が改選となったためもう一度その説明をかいっまんで行ってほしい。また人口減少や高齢化によるマンパワーの減少により、神社の例大祭など地域行事の存続が困難になってきている現状について、町長の所感をお伺いしたい。

### 【町長】

回答1 人口減少率については、令和2年度の国勢調査の数値を基本に算出されたものであり、その当時は復興事業により一時的に人口が増加していたため、その後復興事業に携わっていた方々が、引き上げていった影響で人口の減少率が大きくなってしまっていたものである。今年度はちょうど国勢調査の年であるため、前回の状況と違ううえ、移住定住事業にも取り組んでいるため、前回とは違い結果となるのではないかと期待しているところ。しかしながら、全国的に緩やかな人口減となっている現状、人口を増やすということは難しいとも感じているところであり、将来に向けては、移住定住等の事業に取り組みながら、いかに緩やかな人口減少に対応していくかということが重要である。なお、町外、県外からの移住者の年齢については20代から40代の方が7割となっているため、若い方々が移住してくれているのかなと感じているところ。

質問2 インフラの整備関係について、令和元年台風19号で、小島地区は甚大な被害を受け、復旧をしたところではあるが、昨年9月の大雨の際、河川の擁壁を水が越えており、やはりメンテナンスが重要であると感じたところ。特に被害が大きかった集落はそうしたことを強く感じている。また、前後するが、先ほどの質問に関連して、マンパワーの不足により、地域の維持が難しいという声が地域住民から上がっており、地域の力だけでは対応しきれない部分を行政等の力を借りて何とかできないか。

### 【町長】

回答2-1 まずマンパワーについては、いろいろなイベントなど、必ずしも地域の人では出来なくなってくることは、ある意味当たり前であると思っている。他の地域あるいは町外にも呼び掛けて、地域の祭りなどを継承していくといったことも進めているため、そういったことも検討していただければと思っている。

る。

**【建設水道課長】**

回答 2-2 広瀬川の維持管理については、皆様からご報告を受けた都度県へ連絡しているところ。また土砂掃きを中心とした要望については、町長も県に直接要望したところ。また、毎年議員大会にて土砂掃き及び土砂回収の要望もしていただいている。今後もこういった要望活動を続けていく。

質問 3 町は県内でもごみの排出量が多く、またリサイクル率も低いと認識しているが、一般会計補正予算で、各地区公民館に資源物の拠点回収を行うための倉庫を設置し、ごみの減量化、リサイクルの向上を図るという文言があった。当然小島地区もその対象となるかと思うが、設置する倉庫の大きさや設置時期、また運用について。

**【町民税務課長】**

回答 3 まず倉庫の設置時期については12月を目途に設置する予定。運用については、いつでもごみを出せるという形で想定し、ごみ回収の頻度については、設置後に各地区のごみの集まり具合をみて、回収の頻度を検討する。倉庫の大きさについては、通常の一坪クラスの倉庫であるので、ごみの排出がたくさんあると、すぐ一杯になってしまうため、こまめな回収も心掛けていきたい。

質問 4 町道について、陥没して傾いている箇所があり、今後除雪車での除雪の際に危険であるため、早急に対応してもらいたい。

**【建設水道課長】**

回答 4 現場は確認しているが、現在の予算では対応が難しいため、今後補正等で対応していく。

質問 5 鳥獣対策について、クマやイノシシ、サル等が住居地においてもたびたび現れ、農産物の被害だけでなく生活にも影響を及ぼしている。これは単に鳥獣対策を行えばよいという問題ではなく、かつて農業が活発であって時期においては里山も整備され、それが緩衝体となって、鳥獣と生活空間との棲み分けになっていたと思うが、農業、林業の疲弊とともに鳥獣被害も住宅地に近づいてきていると考えている。したがって、持続性のある農業の振興を関係機関と連携して実現していくことが、ひいては鳥獣対策の一端となると考えているため、取組の強化をお願いしたい。

**【農林振興課長】**

回答 5 農業については耕作放棄解消事業や新規就農などの事業に取り組んでいるほか、林業についても福島森林再生事業、また環境交付金を活用し森林整備を進めているところであるが、県やJA等関係機関との連携を強化し、農業と林業一体となって事業を進めていく。

質問 6 草刈り作業に係る補助金の単価をもっと上げられないか。

**【建設水道課長】**

回答 6 検討する。

質問 7 自治会の事務機器について、パソコン、プリンター等を個人の者を使って行っていくところであるが、町の方で公民館に用意できないか。また、今後冬になると雪の重みで樹木が道路に倒れ掛かってきて危険なため、町で危険箇所の把握と対応をお願いしたい。

【総務課長】

回答 7-1 事務機器については、自治会助成補助金及び、自治会の繰越金を活用願いたい。

【建設水道課長】

回答 7-2 雪の重みで樹木が倒れ交通の妨げとなっている場合には、町で対応しているが、基本は山の所有者の所有物である。  
また、パトロール等で発見しきれない場合もあるため、木が倒れているなどの連絡があった場合には、交通を確保するための対応をしていく。

質問 8 先ほどの質問について、基本は所有者で対応とのことであるが、所有者を調べてもらうことは出来るのか。

【建設水道課長】

回答 8 調べることは可能であるが、教えることは出来ないため、所有者の方に木がかかっていることを通知することは出来るため、その際は場所を連絡してほしい。また、道路に係っている木を行政が切ったら保障が発生したという例もあるため、本当に交通の妨げになっている、車に傷がつく、そういった場合のみ切るように対応したい。

⑤閉会あいさつ：教育長（内容省略）